

# バイオスター チャンバー内部のメンテナンス方法

石膏やほこりなどの汚れによりチャンバー内部のバラシングリングの動きが悪くなると、プレート十分に挟み込むことができなくなり、プレートの周りからエア漏れが発生することがあります。その場合は、以下のクリーニング方法をお試しください。

## 1. バラシングリングを外す

一カ所を強く押し下げながら、反対側を持ち上げるようにしてバラシングリングを外します。



## 2. スプリングとポストを外す

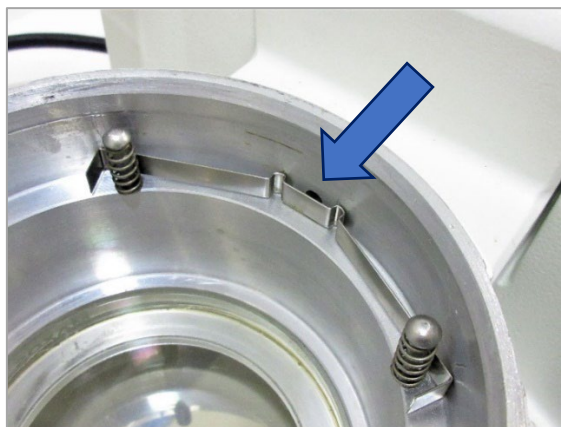
スプリングとポストを外します (4カ所)。



## **\*2. チャンバー内のエア-流入口に金属の板バネが設置されているタイプの場合**

この場合は板バネも外して清掃を行ってください。

「6.」の工程で、バランシングリングを元の位置に戻す前に板バネも写真と同じ位置に戻してください。



## **3. ポストとスプリングのクリーニング**

ポストとスプリングの汚れをティッシュ等で拭き、ポストへ多めにシリコングリースを塗布します。



## **4. バランシングリングのクリーニング**

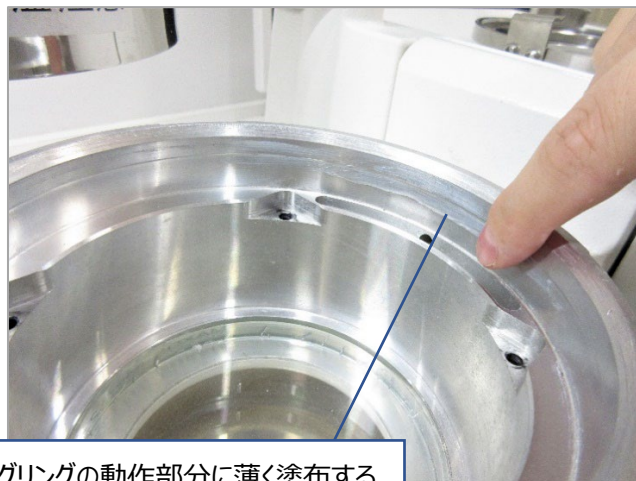
バランシングリングも汚れを拭き取り、側面に薄くシリコングリースを塗布します。





## 5. チャンバーのクリーニングとグリースアップ

チャンバーとバラシングリングが擦れる部分に溜まった汚れを拭き取った後、シリコングリースを一周薄く塗布します。



バラシングリングの動作部分に薄く塗布する

## 6. パーツのセッティング

スプリングとポストを全てチャンバー内に戻し、3 回ほどプッシュして滑りを確認します。

その後、バラシングリングも「1.」と反対の動作でチャンバーにセットします。



①スプリングのない部分を押し込む



② ①を行いながら反対側も押し込む

### ※ご案内※

- ・エア漏れが起きていなくても 2～3 月に 1 回は上記のクリーニングを行うようにしてください。
- ・バイオスターに付属しているシリコングリースをお使いください。お持ちでない場合はご購入も可能です。(詳細は下記参照) もしくは、ホームセンターなどで柔らかめのシリコングリースをご購入ください。
- ・ワセリンはバラシングリングのゴムに含浸し膨張してしまうため、使用しないでください。
- ・冬場は特にシリコングリースが固まりやすいため、バイオスターのご使用前にバラシングリングを何度か押し下げて、動作を確認してからプレートをセットするようにしてください。

### ◆バラシングリングの側面や上面にあるゴムに劣化がみられたら

・バラシングリングの側面や上面に取り付けてあるゴムにヒビなどが入っている場合は、交換のタイミングです。

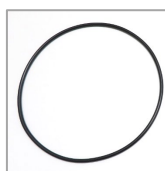
下記パーツをお出入りのお取引店様にご注文ください。



#### ■バラシングリング 上面

・商品名：シーリングリング 115×3mm 1個入

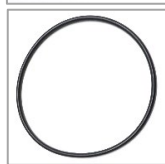
・商品番号：3125199



#### ■バラシングリング 側面

・商品名：シーリングリング 115×4mm 1個入

・商品番号：3130206



※上面(厚み 3mm) と側面(厚み 4mm)では厚みが異なりますのでご注意ください。

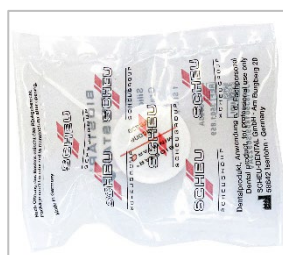
---

下記商品はバイオスター購入時に付属されていますが、お手元がない場合はご注文ください。

### ◆シリコングリース

● 商品番号：3501859

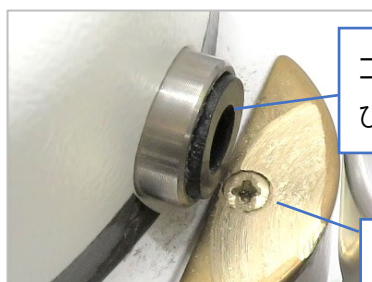
● 商品名：チャンバー用グリース(1個)



### ◆ゴムパッキン (チャンバー横)

● 商品番号：3000856N2

● 商品名：チャンバー用ゴムパッキン(1個)



ゴムパッキン(と真鍮板)にもグリースを塗布してください。  
ひび割れや劣化が見られた場合は交換してください。

真鍮板

株式会社 JM Ortho  
2023.9.6 作成